

教育雑誌特集記事一覧 [2014年2月号]

号 数	特 集 記 事	筆 者
教育ジャーナル	特集 小中一貫教育 ・小中一貫校では、どんなことが可能になるのだろう 「第8回小中一貫教育全国サミット in つくば」ルポ 第2特集 理科教育 ・子どもたちの「なぜ」「どうして」を育む 愛知県刈谷市の理科教育への取組	渡辺 研 和田 成
教育	特集Ⅰ 改憲空間と教育の責任 ・憲法の実在意義と現在の改憲問題 ・憲法を子ども・若者の希望とするために ・憲法的授業空間をつくる ・家族の視点から考えるシティズンシップ教育と憲法 ・いじめ判決書で学ぶ人権 ・人権史の1ページとして憲法改正を学ぶ—公共性の高い憲法問題の授業のために ・沖縄の基地問題 現場と教室をつなぐ試み ・自民党改憲草案が迫る公教育の変質 特集Ⅱ 子供と放課後 ・「子どもの放課後問題」素描 ・秘密基地や道草が育むもの—遊びの場所と時間を保障するために ・ゲームの特性を学び つきあい方を考える ・生活時間の変化から見る放課後	愛敬 浩二 佐貫 浩 子安 潤 望月 一枝 新福 悦郎 杉浦 真理 北上田 源 世取山洋介 増山 均 本庄 眞 今度 珠美 濱沖敢太郎
道徳教育	特集 現実と道徳授業のギャップ—どう乗り越えるか ・道徳教育は無力か？ ・ギャップを授業する 【現実とは違う!? 子どもからの指摘にどう答えますか？】 ・節度節制 うちのお父さんは、いつも部屋が散らかっていて、お母さんに怒られています。 ・個性伸長 個性を大事にするなら、制服ではなく、私服でいいのではないのでしょうか？ ・親切 友達に親切にしたら、「おせっかい」だと怒られました。 ・動植物愛護 魚や肉を食べるのと、動物を大切にすることは矛盾していませんか？ ・自然愛 うちのお母さん、急いでいるときは信号無視します。 ・勤労 「宝くじを当てて、遊んで暮らしたい」と、お父さんがよく言っています。 ・国際理解 戦争や紛争が各地で起きていると、社会科で習いました。 【定番資料と子どもの日常のギャップ—どう埋めるか】 ・小学校 授業の中で十分にギャップを埋める ・小学校 『銀のしょくだい』（2-(4)謙虚寛容)の実践から考える ・小学校 今でこそ道徳教育の基盤作りを大切に ・中学校 生徒の想像力を育むために 【現実とのギャップを乗り越える資料&展開例】 ・小学校低学年 自然とふれ合うきっかけをつくろう ・小学校中学年 現実とは甘くない！資料「リレーの選手になれなかったけれど」で壁を乗り越える ・小学校高学年 失敗体験から考える希望・努力の展開例 ・小学校高学年 現実とのギャップ、死を乗り越える！ ・小学校高学年 掃除に学ぶってどういうこと？ ・中学校 公德心について熱く語り合う ・中学校 いじめを許さない心を育てる—「卒業文集最後の二行」 ・中学校 まずは「現実」にしっかり向き合わせる 【実践／子どもの現実に切り込んだ道徳授業】 ・小学校低学年 「現実と資料の適度なキョリ感」で、子どもをもっと、本気にさせる!!	徳満 哲夫 鈴木 健二 福山 憲市 渡邊 健 池田なほみ 和田 藍子 栗原 利夫 広山 隆行 黒木 俊治 大山 等 吉本 一也 井阪潤一郎 前田 正之 長尾 昭子 和井内良樹 遠藤 信幸 古川 光弘 坂口 一成 伊藤さゆり 松本 好弘 田丸 隼子 村田 正実

	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校中学年 世界の現実と“つながる自分”を見つめる ・小学校高学年 「いい話」で終わらせない ・中学校 自分のこととして考える道徳の時間 	渡邊 泰治 平田 葵 松原 弘
授業力&学級統率力	特集 変革期を先取り!? “この教師体験”メニュー 変革期? 6年後には教育界はどう変わる?—予測ツイート <ul style="list-style-type: none"> ・「やってよかった体験・踏み出せなかった後悔」一覧 ・大きな挫折をきっかけに、自ら学びに出かけるようになった20代(20代) ・一歩 一歩 また 一歩 (20代後半) ・やってよかった五つと必須活動一つ (30代前半) ・視野を広げて世界を見る 足を運んで学び吸収する (30代後半) ・40代教師に勧める「六つの体験」(40代) ・『40にして迷うべし!』(40代) ・【この目で見た“伝説の人”レポート】あの先生は、この“教師体験”があるから?レジェンドだ! ・向山洋一「すべての実践記録を残す」 ・野口芳宏「意識的に教師体験を積み上げる」 ・有田和正「社会への好奇心を失わない」 ・変革期を生き抜く“教師の知的体験” <ul style="list-style-type: none"> ・研究会に参加 ・研究会イベントを企画 ・教育賞に応募 ・書籍の出版 ・校内研を“教師体験”の場に!—企画立案～当日までの工程表 <ul style="list-style-type: none"> ・『可視化』『協働化』『参画化』した校内研の工夫 ・全教員でかわり、一人一人の授業力を向上させる校内研 ・「やるが見える」企画で火をつける ・あの出来事が実力UPの鍵に…“冷や汗体験” <ul style="list-style-type: none"> ・冷や汗体験は若さの勲章だ! ・冷や汗体験をターニングポイントにして ・20代に泣く思いで経験したこと—保護者対応の悪さと学級崩壊 ・失敗体験から得たもの ・こんな保護者と出会った!“びっくり体験・感動体験” <ul style="list-style-type: none"> ・カレーライスとサーモンの造り ・子どもへの親の思いをわからせてくれた保護者たち ・北の漁師は仲間を「くん」づけで呼んでいた ・支え続ける母の愛 ・読むと心にしみる“教師体験”を深めるこの1冊 <ul style="list-style-type: none"> ・20代のうちに読むと心にしみるこの1冊 ・30代のうちに読むと心にしみるこの1冊 ・40代のうちに読むと心にしみるこの1冊 ・立場が変わって気づく公立学校の光と影 <ul style="list-style-type: none"> ・公立学校→私立学校 ・公立学校→塾 ・国立学校→私立学校 ・変革期の“教師体験!”最新レポート <ul style="list-style-type: none"> ・“国際バカロレア”研修レポート ・“中等教育学校”最新レポート ・“大学予備校の教員研修”最新レポート ・目指せ東京オリンピック!学校体育の強化プログラム体験 <ul style="list-style-type: none"> ・筑波発:オリンピック教育の取り組み ・スポーツ経営学の取り組み 	無藤 隆 白鳥 真樹 香川 稔 長谷川博之 間宮 多恵 佐々木明弘 糸井 登 板倉 弘幸 横田経一郎 野口 芳宏 島村雄次郎 上木 朋子 月僧 秀弥 瀧沢 広人 田中寿太郎 岡山 昌司 藤本 将宏 太田 聡美 椿原 正和 岩下 修 勇 和代 岩田 秀雄 大泉 志保 杉谷 英広 高橋 正一 橋口 和恵 小嶋悠紀 他 服部賢一 他 前田陽子 他 尾崎 正彦 福嶋 隆史 藤井 千春 秋山 寿彦 上村 礼子 上田 明宏 長岡 樹 富田 幸博

	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上教室発：走る力を引き出す指導法 ・デジタル教科書“先取り体験！”ーここが革新的だった！ ・国語 デジタル教科書がもたらした「授業革新」 ・算数 「わかりやすさ」を演出する算数デジタル教科書の活用 ・社会 ・理科 	<p>寺田 ゆず</p> <p>丹羽 正昇 金子 和男 長谷川裕晃 楠本 誠</p>
月刊学校教育相談	<p>特集1 いろんな「一年間ありがとう」の伝え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラスのメッセージを贈り合おう ・「ありがとう」を伝える6つのアイデア ・在校生との別れのひとときもタッピングタッチで ・「一生かかって返したいから、ずっと友達でいてね」 <p>特集2 日常の「忙しさ」に対する私の対応法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・猛烈教師よ、さようなら 人間的に生きる姿を職場でも教室でも見せたい ・無心になれる時間・リフレーミング・無理しすぎないこと ・人生を時間泥棒に盗まれないために ・多忙の中で燃え尽きないために 	<p>渡辺 寿枝 重水 健介 更科 幸一 金子由美子</p> <p>石川 晋 浦野 裕司 本草 泉 新井 肇</p>
月刊生徒指導	<p>特集 強制ではなく“意欲的な行動”に導くには 部活動と生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・＜座談会＞部活動における生徒指導 ・部活動の現状 ・部活動における教育活動の具体化 ・部活動でどう声をかけるか？～コーチングを使った体罰を伴わない叱り方・イメージトレーニング～ ・教師が「ダークサイド」におちるとき 	<p>小林一人 他 長尾 康子 吉田 浩之 神谷 和宏 稲垣 智則</p>
総合教育技術	<p>特集1 「2015年・教科化」の是非を問う いま求められる「本当の道徳」</p> <p>【Part 1】新『心のノート』、検定教科書はどうなるのか？ 「日本の道徳教育」その歴史と位置づけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今なぜ「教科化」議論なのか？ 2000年の「教育改革国民会議」から始まっていた「道徳教科化」の議論 ・日本の道徳教育の歴史 <ul style="list-style-type: none"> ①学制による「修身科」設置に始まった近代日本の道徳教育 ②GHQ覚書を受けた「修身科」停止と「道徳の時間」の創設 ③現在の「道徳の時間」の位置づけと学校現場での取り組みの実態 ・「教科化」で道徳教育はどうなる？ 有識者会議最終報告書案の主な内容と心のノート全面改訂案 <p>【Part 2】読者の声・識者の意見を徹底取材 「道徳の教科化」賛成・反対 大激論！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世論&本誌読者の声 「道徳の教科化」に対する賛否 一般市民と教育関係者で温度差あり？ ・「道徳の教科化」私はこう考える <ul style="list-style-type: none"> ①全教科の根底にかかわる道徳は他の教科と横並びではなく「特別の教科」として教科化するべき ②教師の主体性と柔軟性が認められ、道徳授業が活性化するのであれば、あえて反対する理由はない ③子どもが本気になり、1時間の中で変容が実感できる道徳の授業が行われるのであれば教科化に賛成 ④道徳の教科化は間違った手段。学校の外で道徳心を養えるよう体験的な学習の充実を目指せ ⑤道徳の定義は定まっていない。マナーや礼儀、思いやりを教えるだけなら従来の教育で充分 ⑥一方的な価値観の押しつけと「心の成績のいい子」が量産される懸念のある教科化には反対 <p>【Part 3】郷土愛を育む、ネットリテラシー、多文化共生ー注目の「4つの道徳最新実践」レポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①偉人に学ぶ 人が生きていく上で大切な真実を含む先人の言葉や伝記を活用する ・②郷土愛を育む 郷土資料によって郷土愛を育むとともに道徳的な価値と教科学習を結びつける ・③ネットリテラシー 子どもが奪われているのは「時間」時間の使い方を考える授業を ・④多文化共生 日本語が話せない児童も発言できるよう授業に配慮や工夫が必要 ・多文化共生の実践例 視覚に訴えかける資料の活用で多様な発言を導く授業を展開 <p>特集2 子どもたちの活用力は伸びているのか？ PISA最新調査結果を緊急分析！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検証レポート 「V字回復」も「広がる格差」 調査結果が示す成果と課題とは？ ・PISA調査総括責任者インタビュー 今回の結果は現場教師の指導改善の賜物 経年変化に着目しつつ改善の継続を図れ ・PISA調査結果 私はこう見る <ul style="list-style-type: none"> ① 基礎的な知識・理解とのバランスを保ちつつ思考・判断・表現力を育む授業計画を 	<p>押谷 由夫 佐藤 幸司 加藤 宣行 寺脇 研 汐見 稔幸 後藤 高浩</p> <p>東京都教育庁 宮代町立須賀小学校 藤川 大祐 赤堀 博行 東京都港区立斧小学校</p> <p>渡辺 良 田中 博之</p>

	② 現状を維持しつつ、そろそろ日本独自の学力指標を模索する時期にあると考える	耳塚 寛明
実践障害児教育	<p>特集 子どもが自信をもてる教え方 技能検定・競技でチャレンジする心を育てる！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【総論】子どもが変わる教え方のコツ—システムティック・インストラクションを用いて ・[特別支援学校技能検定]目標をもたせチャレンジする心は見守る！ ・[アビリンピック]技能を競う大会で生徒が大活躍！ ・【実践アビリンピック】 <ul style="list-style-type: none"> ・種目「木工」 賞賛とバックアップで自発的な取り組み姿勢を引き出す ・種目「フラワーアレンジメント」 外部との連携で他者に認められる経験を重ねる ・種目「縫製」一つひとつの積み重ねで技量を高める 	<p>小川浩・東良太郎 定本 有記</p> <p>諸星 洋輔 野崎美恵子・内田潤一 村上 恵</p>
月刊教職研修	<p>特集 新「土曜授業」は学校に何をもたらすか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〈インタビュー〉文部科学省に聞く「土曜授業」のねらいは何か ・【資料】土曜授業の実施に係る学校教育法施行規則の一部改正について ほか ・〈Q&A〉新「土曜授業」で留意すべき点は何か ・具体的にどんな活動をすればよいのか ・実施されている土曜授業の実態と今後の課題は何か ・〈豊後高田市に学ぶ〉土曜日をどう活用し、成果をあげたか ・〈インタビュー〉「学校週五日制」の経緯を振り返る <p>特集2 〈徹底検討〉高大接続、大学入試改革—教育再生実行会議第四次提言の課題と今後の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育再生実行会議の提言を読んで ・達成度テストに「基礎」と「発展」の二つが必要か ・多面的・総合的な評価の前提—「人物本位の評価」？ ・小学校・中学校にどう影響するか 	<p>大金 伸光</p> <p>小松 郁夫 仲田 康一 高橋 興 河野 潔 銭谷 眞美</p> <p>川嶋太津夫 佐々木隆生 田中 智志 山下 晃一</p>
初等教育資料	<p>特集Ⅰ 自己の生き方を考える教育活動の推進</p> <p>[第1部] 学校全体で進める教育活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[論説1] 今なぜ、自己の生き方を考えることが大切なのか ・[論説2] 自己の生き方を考える教育活動をどのように進めるのか ・[事例1] 学校における生き方を考える教育活動の充実 ・[事例2] 生き方を先人から学ぶ教育活動の充実に向けた教育委員会の取組 <p>[第2部] 各教科等における学習指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[解説1] 道徳における自己の生き方を考える指導 ・[事例1] 自己の生き方を考える道徳の指導 ・[解説2] 総合的な学習の時間における自己の生き方を考える学習活動 ・[事例2] 自己の生き方を考える総合的な学習の時間の指導 ・[解説3] 自己の生き方を考える特別活動の指導 ・[事例3] 自己の生き方を考える特別活動の指導 <p>特集Ⅱ 学習指導要領における指導のポイント[道徳]</p> <p>—道徳的価値の自覚を深める道徳の時間の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[解説] 道徳的価値の自覚を深める道徳の時間の基本的な考え方 ・[事例1] 道徳的価値のよさや大切さについて考える授業の実際 ・[事例2] 道徳的価値の実現の難しさなどについて考える授業の実際 ・[事例3] 自分との関わりで道徳的価値をとらえる授業の実際 ・[事例4] 道徳的価値に関わる思いや課題を培う授業の実際 	<p>永田 繁雄 村川 雅弘 及川 節郎 阿部 利幸</p> <p>赤堀 博行 高橋妃彩子 田村 学 瀧口 稔 杉田 洋 山根 将文</p> <p>赤堀 博行 黒瀬 敬 保延 秀紀 橋本ひろみ 佐藤 倫子</p>
特別支援教育研究	<p>特集 インクルーシブ教育システム構築に向けた現状と課題</p> <p>—第52回 全日本特別支援教育研究連盟全国大会栃木大会から—</p> <p>【座談会】 インクルーシブ教育システム構築に向けた現状と課題</p> <p>【分科会報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1分科会 早期支援と幼保小の連携 ・第2分科会 専門性を生かした指導と連携のあり方 ・第3分科会 ICFを活用した支援のあり方 	<p>松矢勝宏 他</p> <p>金子 健 佐藤 慎二 原田 弥</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・第4分科会 どの子にも分かりやすい手立ての開発（小学校） ・第5分科会 どの子にも分かりやすい手立ての開発（中学校） ・第6分科会 特別支援教育推進の現状と課題 ・第7分科会 一人一人に応じた効果的な指導や支援のあり方 ・第8分科会 リソースルームなどを活用した教育の実践 ・第9分科会 生活を豊かにする生活単元学習 ・第10分科会 社会的自立に向けた作業学習 ・第11分科会 生きる力を育む日常生活の指導 ・第12分科会 一人一人に必要な力を育む自立活動 ・第13分科会 小学校段階における教科別の指導のあり方 ・第14分科会 中学校段階における教科別の指導のあり方 ・第15分科会 情報機器等を使った指導や支援のあり方 ・第16分科会 自立と社会参加を目指すキャリア教育 ・第17分科会 豊かな関わりの中で共に学び合う交流及び共同学習 ・第18分科会 健康で安全に生きる力を育む指導のあり方 ・第19分科会 将来の自立に向けた個別の教育支援計画の作成と活用 ・第20分科会 特別支援学校のセンター的機能の活用 ・第21分科会 一人一人の豊かな学校生活を支える学校経営 	橋本 創一 森崎 正和 竹原 勝博 藤原 義博 吉村 正久 中坪 晃一 高倉 誠一 田邊陽一郎 井上 昌士 早川 智博 坂本 裕 名古屋恒彦 菊地 一文 伊藤 道雄 太田 俊己 松浦隆太郎 福岡いつみ 尾崎 祐三
中等教育資料	特集 自他の生命を尊重する心を育成する道徳教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・生命の尊重 ・生命を尊重する教育の指導のポイント ・一人一人の心に響く『生命尊重』の授業 ・東日本大震災を教材とした授業実践 ・命や絆を大切に作る宮崎ならではの道徳教育の推進 	藤永 芳純 五十嵐由和 福島市立北信中学校 千葉県立大多喜高等学校 宮崎県教育委員会
兵庫教育	特集 こころの栄養を蓄える <ul style="list-style-type: none"> －読書活動の充実－ ・ビブリオバトルが目指す読書推進の新しい形 ・友だち100冊つくるんだ～読書貯金通帳を使って～ ・生き生きとした読書活動から、豊かな読書環境へ ・図書館は楽しい～生徒の主体性を活かす～ <small>・聴覚障害児が読書の楽しさを感じ、すすんで本を手にとる子どもに～委員会活動と手話と音声での読み聞かせを通して～</small>	吉野 英知 多可町立中町南小学校 神戸市立本山中学校 兵庫県立加古川南高等学校 兵庫県立姫路聴覚特別支援学校
教育委員会月報	特集 平成24年度公立学校教職員の人事行政の状況調査について <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度公立学校教職員の人事行政の状況調査について ・平成24年度 公立学校教職員の人事行政状況調査結果 特集 「平成24年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の結果について <ul style="list-style-type: none"> ・「対教師暴力」の防止に向けて ・いじめの調査結果について－「認知件数」の意味を正しく受け止める ・不登校及び高等学校中途退学の状況と今後の対応について ・「平成24年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の結果について 	初等中等教育企画課 藤平 敦 滝 充 城戸 茂 児童生徒課